

第3回 第6期雄武町総合計画策定審議会 議事録

【日 時】 平成29年2月22日(水) 19:00～20:45

【場 所】 地域交流センター 1F多目的ホール

【出席者】 委員 大場 道子 委員 大星 幸恵 委員 加藤 孝義 委員
河島 仁 委員 桑井 美彦 委員 佐々木伸行 委員
汐後 克也 委員 田口 洋 委員 鉄川 潤 委員
中島 克弥 委員 新山 貴文 委員 福士登美夫 委員
山片 正晃 委員 渡邊 恵 委員 渡部 康太 委員
欠席者 相坂 英代 委員 石橋 啓文 委員 工藤 瞳 委員
久保 毅剛 委員 高橋 進 委員 直井 香織 委員
三河 貴明 委員 安田 将治 委員

町若手職員（まちづくり職員研修として参加）

本村 昂平	早坂 卓	毛利 宗義
一ノ戸千尋	蛭子 恭祐	西方 苗
藤澤 健人	中西 巖太	今 良太
田中 良平	長谷川 潤	小俣 博和

事務局 佐々木財務企画課長 大水財務企画課長補佐
砂原企画調整係

株式会社ぎょうせい総合研究所 主任研究員 今中 英二 氏
主査 菅野 淑夫 氏

- 【会議次第】 1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議事

【報告事項】

- ・今後の策定スケジュールについて
- ・まちくりアンケートの集計結果について

【協議事項】

- ・ワークショップについて（第2回雄武町ワールドカフェ）
- 4. その他
- 5. 閉会

【配布資料】

- ・第6期雄武町総合計画第3回策定審議会議案
- ・【資料1】第6期雄武町総合計画策定スケジュール
- ・【資料2】第6期総合計画策定のためのまちづくりアンケート集計結果報告書
- ・【資料3】第2回ワールドカフェ開催要領

【議事録】

1. 開会

（佐々木財務企画課長）

皆様お晩でございます。ご案内の時間になりましたので、只今から第3回の策定審議会を始めたいと思います。本日は前回に引き続き株式会社ぎょうせいから今中研究員に在席いただいています。後ほどのワークショップについてよろしく願いいたします。

本日は寒い中お集まりいただきましてありがとうございます。今回は前回と同様、役場の若手職員も一緒に会議に入りながら進めていきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

それでは、会議に入らせていただきます。最初に河島会長からご挨拶申し上げます。

2 会長あいさつ

（河島会長）

皆様こんばんは。何かと忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。第6期総合計画の会議も今回が3回目、今年に入って初めての会議です。本日は報告事項が2件と協議事項が1件となります。協議事項については、今回ぎょうせいの今中様と菅野様にお越しいただいておりますが、第2回雄武町ワールドカフェとなります。2月ももう中旬を過ぎてしまいましたが、よく「節分を過ぎるとまた陽は昇る」と申します。今回のワールドカフェで皆様の活発な意見を出していただき、素晴らしい雄武町の朝日が昇るような、そんな雄武町総合計画の原案になるよう議論していただきたいと考えています。よろしく願いいたします。

3 議事

(河島会長)

それでは、早速会議に入らせていただきます。ここから先は着席して進めて参りたいと思います。

それでは、報告事項「今後の策定スケジュールについて」、「まちづくりアンケートの集計結果について」、説明をお願いいたします。

【報告事項】

- ・今後の策定スケジュールについて

(大水財務企画課長補佐)

皆様こんばんは。報告事項ですが、最初に資料1の説明です。本日は本年最初の正式な審議会となります。まずは資料1で策定スケジュールの再確認を行います。それから資料2でまちづくりアンケートの集計結果について、15分程度で説明をさせていただきます。

資料1の総合計画策定のスケジュールですが、本年1月25日に、出席率は半分ほどの13名でありましたが、出塚食品2階で新年懇談会を開催しました。懇談会の中では、雄武高校の存続について心配する声が多く、色々と工夫して何か実施していかなければならないといった意見がありました。また、漁港の関係では、例えばハードの整備と併せて、港にホタテを撒いて、そのホタテを釣り、そのような体験ができる楽しい浜づくりをしていきたいといった話もありました。それから、町民と行政がここから本腰を入れて、子どもたちに色々感じていただけるようなまちづくりを進めていかなければならないといった意見もありました。

資料の内容ですが、アンダーラインを引いているところが審議会委員の関連している部分です。2月22日に主要団体のヒアリングということで、本日、農協と商工会のヒアリングを実施しました。ご協力いただきありがとうございました。そして、本日が第3回目の策定審議会となります。

3月中旬には、基礎調査報告書納品を予定しています。これは本日のワークショップやまちづくりアンケート、産業団体のヒアリングや役場内部のヒアリングを基に、報告書という形で、委託先の株式会社ぎょうせいから納品されます。それを基に3月下旬に第4回目の策定審議会を予定しています。なお、年度末ということもあることから、開催は4月にずれ込む可能性があります。

第5回目の策定審議会は4月下旬を予定しています。ここでは基本構想として、10カ年の計画の柱となるものを提示したいと考えています。

その後、5月中旬に第6回目の策定審議会を予定しています。ここでは基本構想や、政策体系の産業、福祉、教育、生活インフラの整備等といった体系図のイメージを決定していく予定です。

7月中旬には、第7回目の策定審議会の開催を予定しています。ここでは、

基本計画の内容について決めていきたいと考えています。これは平成30年～34年度までの5カ年の具体的な方針を提示したいと考えています。

2頁目に移りまして、8月頃に第8回目の策定審議会を予定しております。

その後、10月頃に第9回目の策定審議会を予定しています。ここでは前期の財政計画と実施計画について説明したいと考えています。実施計画とは、前期5カ年において財政の健全化を維持しながら、実際に行う事業を集約したものです。

その下の部会による集中審議という部分ですが、3つの部会の「総務・行財政」、「産業・建設」、「社会福祉・教育」に分かれて2、3回程度の開催を予定しています。この中において、役場の各担当の係長や職員も参加し、説明や協議をしたいと考えています。

11月には第10回目の策定審議会を予定しています。ここでは計画の答申案を協議していきます。そして、同月に最後の策定審議会を開催し、答申する最終的なプランを決定していただきたいと考えています。審議会における答申案決定後、同月中に会長から町長へ答申を行うこととなり、これをもって審議会委員としての任期が終了となる予定です。

答申後、12月議会において提案を行い、翌年の3月議会で議決を受けて策定完了ということになります。長丁場になりますが皆様には審議会にご参集いただき、意見を十分反映させていきたいと思っていますので、今後ともよろしくお願いいたします。スケジュールについては以上です。

・まちづくりアンケートの集計結果について

続いて、資料2のアンケートの結果報告ですが、重要となる点だけ説明します。まず、2頁の部分で、昨年1,500人の町民に対して無作為にアンケートを行い、約3分の1である498票を回収しました。参考ですが、その下に前々回調査、10年前とありますが、同じ条件で1,500人を対象とした際とほぼ同じ487票ということで、回収率についてはほぼ同数という集計結果となっています。

次に、アンケートの結果ですが、まずは7頁の雄武町のまちづくりに対する関心部分です。グラフのとおり左の縞々の部分ですが、「とても関心がある」というところで、前回調査、これは5年前との比較ですが、3ポイントと若干ですが増となっています。単純に「とても関心がある」という方は4人に1人程度ということで、この部分をもっと上げる必要があり、町としてもそのような政策課題の提案、提起等を工夫して取り組んでいく必要があると考えています。

14頁からの「3 産業振興策」ですが、これは大切な項目です。産業が活性化すれば、所得が向上して、結果的に良い方向に繋がっていきます。また、生産年齢人口が増えると、社会増や自然増にも波及していくと考えられます。

14頁の「力を入れるべき農業振興策」では、下図のグラフのとおり「後継者や新規就農者の育成・確保」、「加工品の開発及び6次化の推進」といった部分が上位を占めています。

16頁の「林業振興策」では、下図のグラフのとおり1番には「計画的な造林・下刈」をして国土保全に貢献していくということ、また、林業に関しても「後継者対策」が必要といった部分が上位を占めています。

18頁の「漁業・水産加工業振興策」では、1番は「主要魚種（毛がに・ほたて・さけ）の漁獲の安定化」です。町内各漁港の活性化は水産加工業にも波及することになるため非常に重要です。それから、ブランド力ということで、「雄武産」は北海道内における産地のブランドとなってきていますが、更に全国や世界に目を向けてブランディングを図っていく必要があります。

20頁の「商工観光業振興策」では、下図のとおり「特産品の魅力の強化」、「イベント・祭りの内容の充実」、「スポーツ合宿」といった項目が上位を占めています。その下の「6 滞在体験型観光の推進」という項目ですが、今後はこのような方向性による観光の推進が基本になるのではないかと考えています。現在、関東からホテルに2,000人程の宿泊者が来ている状況で、如何にして「雄武町を楽しんでいただくか」ということで、観光協会を法人化した経緯があります。

22頁の「重要な人口減少対策」では、下図のとおり上位から、「医療・福祉サービスの維持・向上」、「産業の振興による雇用拡大」、「子育て支援」、「雄武高校の存続対策」という集計結果となっています。高校生の子どもがいない人が多数アンケートに回答している中で、この項目が上位に占めているということは、地域的にも一番心配されている部分ではないかと感じています。

26頁の「独身の理由」では、男性・女性で図表が分かれており、男女共通した1番の理由は「結婚したいと思える相手がいない」となっています。男性の2番は1番と同率で、「家族を養える収入・資産がない」ことであり、女性の2番は「出会う機会、きっかけがない」こととなっています。

27頁の「取り組むべき結婚支援対策」では、全体・独身者の両方で共通して「安定した雇用の確保」が一番多く、如何に地域で仕事を作って所得を高めていくかということが最重要テーマとして見えてくるかと思えます。

53頁の「子育て不安の有無」では、子育てをされていて不安に思うことはありますかという設問がありますが、下表のとおり不安が「とてもある」と回答した人が、小中学生の子どもがいる人では12%、小学生未満の子どもがいる人では31%となっており、子どもが小さいほど不安が大きいという傾向がありました。

54頁の「子育ての不安の内容」では、1番多かったのはやはり「子どもの教育」についてです。2番目は「経済的不安」です。高学歴化ということもあり、4年制大学まで進学する場合は1,000万円近くのコストがかかると

いう話もあります。3番目に多いのは「子どもの人間関係」という順になっています。

64頁の「実践している災害対策」では、一番下に【「いつも行なっている」人の割合】というグラフがあり、「災害備品の準備」、「家具の転倒防止策」といった項目があります。雄武町は全国的に見ても災害リスクが低い地域ですが、5年前、10年前と比較して、この間、東日本大震災や熊本地震等があったにも関わらず改善が進んでいません。現在町では地域防災計画を策定中であることから、今後それらを通じて啓蒙を図っていきたいと考えています。

73頁の「施策満足度」では、「満足している」、「やや満足している」という部分に注目しがちですが、敢えて「やや不満」、「不満」という部分のワースト5に着目してみました。1番不満が多いのは(8)の医療で、やや不満・不満の合計が42.6%となっています。2番目は、(25)の除雪で31.9%となっています。3番目が(20)の公共交通(バス・ハイヤー)で26.9%と、交通過疎地ということもあり高い数値となっています。4番目は(6)の観光振興で21.3%、5番目は、(19)の道路整備で19.9%となっています。これらの不満を解消していく取り組みも第6期総合計画では必要と考えています。

最後に、83頁以降は自由意見欄ということで、文章を修正せずに敢えて原文のまま掲載し、内容ごとに事務局で整理したものです。参考となるアイデアもある一方で、やはり、役場行政に対する不満や厳しいご指摘もあります。多少心苦しい部分はありますが、こういった声にこそ行政側に対するヒントが隠れていることから真摯に内容を受け止め、役場として改善に取り組んでいきたいと思えます。以上で報告事項を終わります。

(河島会長)

ありがとうございました。今の報告事項に関して、皆様何か質問はありませんか。

(出席者)

質問なし。

(河島会長)

では、協議事項のワークショップに移ります。

【協議事項】

- ・ワークショップについて(第2回雄武町ワールドカフェ)

(今中研究員)

皆様こんばんは。前回から日にちは経ちましたが、第2回のワールドカフェ

エとなります。配布した資料3ですが、皆様が創作した短歌にコメントを入れています。私自身が付けたコメントですので、「このような意味で短歌を創作したのではありません」などの意見がありましたら、修正したいと思います。前回皆様が創作した短歌を紹介いたします。2頁目の右上、「雄武人 熱い思いを 持ち続け 自信を持とう サンジャックに」という短歌ですが、前回「ほたて」がフランス語で「サンジャック」だということを勉強しました。後に調べてみましたが、コメントの記載のとおりイエス＝キリストの弟子の1人に聖ヤコブという人がおり、その人の象徴が「ほたて」であったとのことでした。また、イタリアの有名な絵画のミロのヴィーナスは、「ほたて」の上に乗っているということがわかりました。西洋の人々にとって、実はほたてというのは特別な意味を持つということを知りました。そういった背景があることから、西洋でほたてが採れるか調べたら、ヨーロッパホタテガイという名称の貝があり、地中海の暖かいところで採れるそうです。味は北海道のほたてのほうが美味しいと記述がありました。つまり、ほたてはヨーロッパの人にも馴染みが深いということです。ヨーロッパに日本の高品質の美味しいホタテを売り込んでいく際には、聖書に因んだサンジャックという言葉を経絡して行っても面白いのではないかと思います。

下の右側の「雄武町 離れてわかる あたたかさ 戻ると美味しい サンジャック」。この短歌ですが、私も田舎育ちですので非常に当てはまるものがありました。

前回多くの歌を創作してもらいましたが、雄武の自然の美しさ、産業の素晴らしさが非常に多く表現されていました。ただ、私の話の流れの進め方が悪かったせいか、「人」がまったく登場しませんでした。やはり短歌には、主人公や自分の心の訴えや気持ちの表現が大切かと思います。今日は、ぜひ日常生活の喜怒哀楽の感情や、家族や友人、恋人への想い、将来の自分の夢などを皆様の日々の日常生活で感じたことを題材に短歌を作っていただきたいと思います。例として3頁の下欄に「春が来て、息子が札幌進学し入学式で涙こぼれる」とあります。これは私が創作したもので、この短歌は雄武町だけで限定したものではありません。北海道の各地方の状況を詠った典型的な例だと思います。

今日はホワイトボードに記載したとおり、2回席替えを行い、15分ずつ意見交換し、最後に色画用紙に創作した短歌を書いて、その後発表していただきます。短歌の内容が多く浮かぶ人は、たくさん作っていただいても結構です。最終的には、短歌を1つ作っていただければと思います。話し合いのテーマですが、自分の日常生活にちなんだものを作っていただきたいと考えておりますので、「自分の人生において、一番〇〇だったこと」について考えていただきます。一番嬉しかったことや、一番悲しかったことなどを思い起こしていただき、そのことについて短歌を作ろうというイメージで15分間話し合いを進めていただきたいと思います。すぐ思い浮かばない方につきましては、この

一年でも構いません。それではよろしくお願いいたします。

ーワークショップ開始ー

(今中主任研究員)

時間となりましたので、1回目の席替えを行います。

ー席替え実施ー

皆様着席されましたので、次のテーマに入ります。先ほどは、過去の話をしていただきました。次は未来についての話をさせていただきます。自分にとって「今後10年以内に迎えたい〇〇なこと」、または「今後10年以内にこんな〇〇なことがあったら」などを考えて、話し合っていたいただきたいと思います。それでは、よろしくお願いいたします。

(今中主任研究員)

時間となりましたので、2回目の席替えを行います。

ー席替えを実施ー

皆様着席されましたので、次の作業について説明します。ただいまの話し合いの中で、皆様には過去の人生や今後10年の未来について考えていただきました。それを基にして、短歌を作ってください。参考ですが、30年前にサラダ記念日として流行した短歌を紹介いたします。「この味いいね、君が言ったから、7月6日はサラダ記念日」これは、五・七・五・七・七の形式とはなっていませんが、当時これが大変話題となりました。定型とはなっていませんがとにかく気持ちが伝わればいいのだと思います。どこまでこの場で発表できるかといった葛藤などがあると思いますが、さらけ出していただいたほうが良い短歌ができるかと思います。時間も限られていますので、早速ですが、色画用紙に記載してください。悩んだら、周りの人に相談しても結構ですので、作業を進めてください。

ー作業開始ー

(今中主任研究員)

時間となりましたので、発表の時間に移ります。全員発表していただきたいのですが、時間も限られておりますので、まずは、それぞれの班でぜひ自分が発表したいという方に発表していただきます。創作した短歌に皆様にもわかるよう簡単なコメントもつけていただければと思います。それでは、お願いします。

(汐後委員)

私は共栄小学校に勤めています。日々の学校での実感で一首作りました。子ども達が日々成長している喜びを詠った短歌です。

「学び舎で 見つめし成長 子どもらの 伸びゆく速さに 喜びあふれ」

(今中主任研究員)

ありがとうございます。次の班の発表をお願いします。

(渡部委員)

雄武郵便局の渡部です。私は、5つ作りました。

まず1つ目は、毎日の日常で思っていることです。

「仕事帰り 毎日行きたい スナックに だけどお金が 足りないよ」

2つ目は、毎年参加しているオホーツクサイクリングのことです。

「オホーツクサイクリング 天気が心配 晴れてくれ ゴールでビールが 待っている」

3つ目は、仕事の接客をしていて感じることです。

「毎日の 仕事で出会う お客様 一生懸命頑張れば 言われる言葉 ありがとう」

4つ目は、趣味での内容で、10年後の自分の夢についてです。

「大沼の スノーアタック 3連覇 成し遂げたい夢 目指す頂」

これは、冬の時期自分の車を使って、大沼の氷上を走るイベントレースがあるのですが、この大会で3連覇するというのは難しいと言われているため、ぜひ10年後までに成し遂げたいという夢です。

5つ目は、妻との毎日の暮らしを短歌にしました。

「コントかな 妻と過ごす日々 今後も元気で 笑おうね」

(今中主任研究員)

ありがとうございます。次の班の発表をお願いいたします。

(西方)

保健福祉課社会福祉係の西方です。私は、4つ考えました。

「海産物 幼い頃から 食べている デパート産は 食べられない」

これは、幼少の頃から雄武産の鮭を召し上がっているのですが、デパートで売っている海産物は口に合わないという意味で短歌を作りました。

「美深線 鹿が飛び出し 危ないぞ！ たまにはうさぎも いいかもね」

これは、私が運転できる年齢になり、鹿の飛び出しが非常に恐く、ゆっくり走っている中、時々うさぎを見かけることもあり、可愛いと癒されることがありま

す。うさぎに遭遇するくらい雄武町は自然が豊かであると実感しています。

「疲れたなあ 坂道多い 学校まで 歩く児童が 見当たらない」

これは、小さい頃感じていたことで、他の児童は車で送迎している中、私含め兄弟は徒歩で登校していたということで、その時の心境を短歌にしました。

「母を見て 苦勞するかと 思いきや 仲良く3人 のびのび育て」

これは、10年以内に子どもが3人欲しく、私の将来のことを短歌にしました。

(今中主任研究員)

ありがとうございます。次の班の発表をお願いします。

(中西)

産業振興課商工観光係の中西です。過去が一番恐いことをテーマにして作りました。

「牛臭い 農家で発した 一言に 本気で怒った 父の顔」

私の父は獣医をしまして、小さい頃農家へ訪れた際に、私がふと発した「牛臭い」の一言に父から怒られた出来事が、今でも忘れられないため、それを短歌にしました。

(今中主任研究員)

ありがとうございます。次の班の発表をお願いします。

(桑井委員)

雄武高校の桑井です。昨年4月に雄武へ転勤となり、現在単身赴任をしております。そこで3つ短歌を考えました。

まず1つ目は、夏期の明け方頃、球場にカラスが餌を求めて来るので、それを短歌にしました。

「明け方に 空に飛ぶ鳥 カモメかな 黒くてうるさい カラスです」

2つ目は、校長住居は非常に風通しのいいところで、前任が設置したBSのパラボラアンテナが吹き飛んだということで、1首作りました。

「強い風 雄武の歓迎 うれしいな パラボラアンテナ どこへ行ったかな」

3つ目は、先ほども申しましたが、単身赴任で来ていまして、この短歌は俺物語「剛田猛男」風に詠みあげます。

「単身で 雄武の生活 一年目 カニ・ホタテ・サケ 海の幸好きだ」

(今中主任研究員)

ありがとうございます。まだ時間もありますので、2周目にいきたいと思いません。

(田中 (良))

役場建設水道課土木管理系の田中です。恥ずかしい内容となっておりますが、思い切って作りました。

「結婚し 家庭を守り 仕事場で 道を守る 人に成る」

私は独身で土木管理係ということで、道路を作ったり守ったりといった管理に関する仕事をしていますので、将来的には家庭を守りつつ、仕事でも雄武町の道路をきちんと守っていける人になりたいと思い作りました。

(今中主任研究員)

ありがとうございます。次の班の発表をお願いします。

(大星委員)

社会福祉協議会の大星と申します。3つ考えました。

「子供達 皆元気に 成長し 気づけば私も 共に成長」

これは、自分が年を重ねてきたと実感する短歌です。

「山の中 学校帰りに 木に登り たくさん食べた 山ブドウ」

これは、小学校の頃の短歌です。

「未来を夢見る 子供達へ 雄武の産業 引き継げ未来へ 10年後」

(今中主任研究員)

ありがとうございます。ここで事務局から発表をお願いします。

(大水財務企画課長補佐)

事務局の大水です。趣味で自転車をしており、サイクルロードレースが好きですので、それを短歌にしました。自転車の最高峰のツールドフランスという大会があるのですが、これはヨーロッパのサッカーに匹敵するほど人気があります。その際に、テレビ中継を見ていて思ったことです。

「ツールドフランス見てみたら どこかで見たような 映像が 雄武の景色と同じだ」

ヨーロッパの田舎の空撮の景色はとても綺麗で、これが人気となっている要因のひとつでもあります。また、田舎の景色の中を真剣な男達が走るという魅力もあります。雄武町にも青葉、豊丘や共栄などの地区でドローンを用いて空から撮れば、同様な景色があるということに気付けたらと思い作りました。

(今中主任研究員)

ありがとうございます。次の班の発表をお願いします。

(本村)

財務企画課財政係兼企画調整係の本村です。3つ考えました。私は昨年7月に雄武町役場に就職しました。1首目は採用試験の際に感じた短歌です。

「思い出す 山道を抜けて 目前に 広がる緑と 鮮やかな青」

これは、下川―雄武線を通り、途中で町道を経由し雄武町役場に向かう途中、下り坂になった瞬間の、綺麗な牧草地の緑と、空や海の青が一緒になっている光景を初めて見て今でも心に残っているという思いを短歌にしました。

「雄武来て 初めて食べた アンガス牛 広がる旨味 広がれ世界へ」

こちらは、それまで知らなかったアンガス牛の美味しさに感動し、まずは北海道での知名度を上げ、夢は大きく、この美味しさがもっと世界へ広がっていくと良いと思い、詠みました。

最後に、町外出身者として、自分がこれから心に留めていきたいこと、そして今後移住をしてくる人が増えてほしいという願いを込めまして、一首作りました。

「この先も、年を老いても、心には 移住し良かった 第二の故郷」

(今中主任研究員)

ありがとうございます。次の班の発表をお願いします。

(小俣)

雄武町教育委員会の小俣です、この短歌が一番幸せだったときのことを考えたのですが思い付かなかったので、最近の良かった出来事を短歌にしました。

「残業後 疲れを癒す ご褒美は 雄武の幸で 飲む一杯」

(今中主任研究員)

ありがとうございます。次の班の発表をお願いします。

(今)

産業振興課商工観光係の今です。

「雄武産 ほたてを食べすぎ 太りすぎ」

短歌の形式にはなっていませんが、これくらいの体型になってしまうくらい、美味しいということです。

(今中主任研究員)

ありがとうございます。3周目は時間に限りがありますので行いませんが、ぜひ私の短歌を発表したいという方はいますか。

(早坂)

財務企画課企画調整係の早坂です。私はスポーツが趣味ですので、スポーツ中心

的な内容となり、短歌は4つ考えました。

「サイクリング お尻は痛く 遠いけど 各地の町で お腹いっぱい」

これは、オホーツクサイクリングに参加した時に感じたものです。

「人生は マラソンのように 果てしなく だけどゴールは やってくる」

これは、昨年北海道マラソンを走った際に感じたものです。

「いつの日も 活躍できる あの日まで 痩せたいけども グルメの誘惑」

これは、日々ベストを尽くしたいのですが、つい食べ過ぎて痩せることができないということで作りました。

「十年度 結婚してるの わたくしは 寂しい夜か 幸せですか」

これは、私の結婚願望の短歌です。

(今中主任研究員)

ありがとうございました。今回は洗練された短歌が多く発表されたと思います。ワールドカフェについては今回で一旦区切りとなりますが、私は来年度も総合計画策定の手伝いを行う予定です。今回は「短歌」というテーマでしたが、何かモノを作っていくということは非常に大切です。以前お話しましたが、家庭菜園などで様々な畑作を栽培して、未来の雄武のために新しい取組みの野菜を育てることや、自分の趣味などの楽しいものづくりから、新たな広がりをもっていただきたいと思い、今回この企画を立案しました。皆様から発表いただいた意見は第6期雄武町総合計画に反映していきたいと思いますので、ご協力いただきありがとうございました。

(河島会長)

今回のワールドカフェでは若い世代の方々がこんなにも熱く雄武のことを思っていることを実感しました。また、年配の方々はまだまだ若者には負けない熱意、そして人生経験があるように雄武の素晴らしい短歌を作ることができるといった方もいると思います。若い世代の方々は、策定審議会はこれが最後になります。この会議は雄武町の10年間の未来を考える重要な会議ですが、皆様にはこれを契機にして、自治会や町内会にも参加し、町民がどういうことを考えているかに耳を傾けていただきたいと思います。それから、委員の皆様は、今回から11月までの長期間となりますが、次回からも協力をお願いしたいと思います。今日の会議はこれで終了します。本日はどうもありがとうございました。